



回答率：評議員100%、保護者91.8%、児童98.9%、教職員100%

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解	2 意欲的な学校生活	3 教師の連携協力
<p>学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。</p>	<p>全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>考察</p> <p>【1について】学校通信や学校HPを通して広く周知したが、昨年度と同等の結果だったので、今後、更なる工夫を試み、浸透を図りたい。</p> <p>【2について】児童の肯定的な回答（「4 そう思う 3 どちらかといえばそう思う」）率が昨年度比3%減少した。今後、児童観察の仕方を工夫改善し、認め、褒める機会を増やし、自己肯定感や自己有用感等を高めたい。また、様々な取組に対して目的意識を持たせることも大切にしたい。</p> <p>【3について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比4%増加した。教職員への信頼が児童の学力向上等に繋がることから更なる組織力の向上に努めたい。</p>		

教科指導について

4 授業づくりの工夫	5 意欲的な学習態度	<p>考察</p> <p>【4について】「4 そう思う」の回答率が昨年度比児童と保護者で10%、教職員で25%増加した。確かな学力を育むことは学校の責務であるとの自覚のもと、今後も授業改善に組織的・意図的に取り組み、わかる授業及び思考力・判断力・表現力の育成を追求したい。</p> <p>【5について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比5%減少した。今後、教職員の指導力向上と共に、「早寝・早起き・朝ご飯」（基本的生活習慣）の取組を保護者と共に行っていききたい。</p>
<p>あなたは、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>子どもたちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	

道徳教育 心の教育について

6 道徳、心の教育の充実	7 あいさつ、礼儀の励行	<p>考察</p> <p>【6について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比3%減少した。教職員の「4 そう思う」の回答率も13%減少した。今後、平成30年度から全面实施される「特別の教科 道徳」（道徳科）に向けた校内研修の充実（指導力の向上）と共に、家庭での日常的な指導や地域での体験的活動の充実等、三者の協働で育みたい。</p> <p>【7について】児童の肯定的な回答率90%に対し、教職員は71%にとどまった。この認識の違いについて具体的に伝えると共に、今後も場に応じた礼儀の励行について継続的に指導したい。また、大人が模範を示したい。</p>
<p>学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に努めていると思いますか。</p>	<p>子どもたちは、あいさつがきちんとできていると思いますか。</p>	

人権教育について

8 一人一人の児童の尊重	9 友だちへの思いやり
<p>学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていますか。</p>	<p>子どもたちは、友だちとなかよくしていますか。</p>
<p>考察</p> <p>【8について】98%の児童が肯定的であったことは、日々の取組の成果であると考えられる。しかし、2%の児童が否定的であったことに着目し、児童理解の仕方を改善し、認め・褒める機会を増やすことで、全児童の自己肯定感を高めたい。また、保護者の肯定的な回答率は6%増加したものの、6%の保護者が否定的であったことから、今後、相談体制の更なる周知とともに、地域と共にある学校づくりを一層推進したい。</p> <p>【9について】「1 そう思わない」の回答は皆無であった（昨年は児童に5%）が、9%の児童と8%の保護者が否定的であったことから、今後一層、道徳教育や人権教育の深化、日常での機を逃さない指導の徹底等を図りたい。また、家庭（日常的な会話等）と地域（社会教育や地域行事等での体験活動等）との三者の協働で育みたい。</p>	

学校行事について

10 学校行事への参加と工夫
<p>学校は、学校行事（運動会など）が工夫されていると思いますか。</p>
<p>考察</p> <p>【10について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比1%増加した。（「1 そう思わない」の回答率は2%減）今後も児童の活動を中心に考えると共に、保護者や地域の方等のニーズに極力応えられるような学校行事を模索したい。</p>

生徒指導 教育相談について

11 児童理解	12 規範意識	13 いじめや問題への対応
<p>あなたは、子どもの良さを見つけ、子どものことを理解しようとしていますか。</p>	<p>子どもたちは、規則やマナーを守っていると思いますか。</p>	<p>学校は、いじめや問題があったとき、すぐに対応していると思いますか。</p>
<p>考察</p> <p>【11について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比9%増加（「4 そう思う」は19%増加）した。しかし、昨年度同様5%の児童が否定的な回答であった。今後、先述の通り、児童理解の仕方を改善し、認め・褒める機会を増やすとともに、保護者にも対話や通信等で伝える機会を一層増やしていきたい。</p> <p>【12について】教職員の肯定的な回答率が昨年度比13%、保護者と児童が3%増加した。規範意識の高揚は、学力向上やいじめの未然防止、安全な生活等に繋がることから、今後も学校総体で高めたい。また、家庭や地域との三者協働で育みたい。</p> <p>【13について】児童の肯定的な回答率は昨年度比1%増加したが、保護者は3%減少した。今後一層、未然防止や早期発見（年4回のアンケート調査や日常的な児童観察）、早期対応（個人面談や教育相談の実施）、チーム対応（生徒指導主事や管理職、関係機関との連携）などを心がけたい。</p>		

健康教育 安全について

14 安全と事故防止	15 体力向上
<p>学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。</p>	<p>子どもたちは、すすんでスポーツなどを行っていますか。</p>
<p>考察</p> <p>【14について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比6%増加したが、児童は3%減少した。今後一層、学校は、児童一人一人の命を守り、安全なところでなければいけないという認識のもと、全職員で安全管理や安全指導に取り組んでいきたい。また、児童にも浸透させたい。</p> <p>【15について】児童の肯定的な回答率が昨年度比7%、教職員が6%、保護者が1%増加した。環境整備（運動場に常時ドッジボール等のコートラインを引いた）と昼休み時間の延長により、外遊びが増えたのが要因と思われる。今後も工夫改善したい。</p>	

学校環境について

16 環境の整理・美化	17 施設・設備の安全管理
<p>学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。</p>	<p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
<p>考察</p> <p>【16について】教職員の肯定的な回答率が昨年度比7%減少した。花壇や校内掲示などの整理や活用について、教職員一人一人が課題意識を持って取り組むようにしたい。</p> <p>【17について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比2%増加した。今後も毎月実施している校内安全点検の徹底とともに、職員一人一人が日常的に危険箇所を探すなどしたい。また、児童や保護者からの声にも即対応したい。</p>	

情報の公開・発信について

18 学校の予定等がわかる情報発信	19 教育活動への参加
<p>学校の情報は、文書（学校便り等）やホームページ等で、十分に発信されていると思いますか。</p>	<p>学校が公開している教育活動（行事、授業参観等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。</p>
<p>考察</p> <p>【18について】教職員の肯定的な回答率が昨年度比6%増大したが、保護者は5%減少した。今後、学校だよりや学級だより、保健だより、給食だより、学校ホームページ等で情報発信していることを周知すると共に、より読み手を引きつける魅力あるものを作りたい。</p> <p>【19について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比6%、教職員が7%増大した。今後も地域と共にある学校づくりに寄与したい。</p>	

家庭・地域の連携について

20 家庭や地域との連携協力
<p>あなたは、保護者（地域の方）と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>
<p>考察</p> <p>【20について】保護者の肯定的な回答率が昨年度比9%、教職員が7%増大した。学校と家庭の連携は、児童の発展には不可欠であることから、今後も学校と家庭、地域との「共育」を進めたい。</p>

来年度の具体的な取組について(今年度否定的な回答が多かった事項を中心に)

- 意欲の向上（児童理解、魅力ある授業づくり、能動的な学習の定着、自己肯定感の高揚、基本的生活習慣の確立）
- 「あいさつ日本一大作戦」の取組の充実（児童会主体の取組の推進、学校・家庭・地域の三者協働、習慣化に向けた継続指導）
- 道徳教育、人権教育の充実（道徳科への対応、道徳的実践力の育成、授業参観での保護者啓発、学校・家庭・地域の三者協働）
- いじめや問題行動の未然防止。（児童理解の工夫改善、複数回のアンケート調査の確実な実施、個人面談・教育相談の充実、家庭との連携）
- 規範意識の高揚（道徳教育の充実、積極的な生徒指導、機を逃さない指導の継続、学校・家庭・地域の三者協働）
- 体力向上（体育科授業の充実、外遊びの奨励、社会体育への円滑な移行、学校・家庭・地域の三者協働）